

看護学科 3年 前期 専門基礎科目／専門科目

1. 看護研究Ⅲ(事例研究)

看護学科

3年

科目名: 看護研究Ⅲ(事例研究)				担当教員氏名: ○山元恵子、○中田智子、今川孝枝、米山美智代、高橋絹代、大橋達子、小倉之子、坂東紀代美、炭谷英信、稲垣尚恵、古里直子、泉朱子、横道博子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	ta	備考
2	3年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 各領域での実務・教育・管理経験を活かし、各実習での受け持ち事例を通してから看護のあるべき姿と現実の課題を倫理的配慮した上で事例研究として報告できるように教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
臨地実習を通して受け持ち患者の看護実践やたいの事例をまとめ、学内で事例研究として報告する。まとめる過程で、看護実践と理論との比較や検討を行い実践における理論の活用について学ぶ。また、看護実践を言葉にして他者に伝えることを体験し、その必要性について学ぶ。				看護実践、事例の問題解決、理論と実践の統合、論文の書き方、発表能力	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 7.	
A 知識・理解力		看護実習の体験から看護を振り返ることができる			
C 論理的思考力		理論と実践の統合を目指し思考を深める			
D 問題解決力		看護実践の中から課題解決策を考える			
E 自己管理能力		看護実践を研究論文としてまとめることができる			
H コミュニケーション力		看護実践を言葉にし他者に伝えることができる			
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 60 %	発表: 30%	実技試験: %	その他: 10 % (授業への参加態度や発言)	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 以下により総合的に評価する。 ※グループワーク参加状況 ※事例研究報告書 ※プレゼンテーション					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
演習30コマの概要			適宜、担当教員から指示を受ける		
① 看護研究Ⅲの全体のガイダンス・事例研究・発表形等のガイド			適宜、担当教員から指示を受ける		
②~⑩ 令和7年4月 7日 ~ 4月末日 事例の決定と指導教員との打ち合わせ			適宜、担当教員から指示を受ける		
⑪~⑲ 事例のまとめ・ポスター作製・ポスター発表の準備			適宜、担当教員から指示を受ける		
令和7年4月末日 ポスター発表日			適宜、担当教員から指示を受ける		
⑳-⑳ 事例研究発表後のアドバイスを加味し、完成させる			適宜、担当教員から指示を受ける		
使用テキスト: 研究Ⅰで使用のテキスト			その他参考文献など: 看護理論に関するものなど適宜参考にする		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ○研究の担当教員と実習担当教員から積極的に関わり、指導をうけ、事例研究として完成を目指す。					